

松山市民病院 小児科を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

当院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査データを使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や検査データを利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	四国地方における新生児・乳児食物蛋白誘発胃腸炎（FPIES）多機関コホート研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	松山市民病院 院長 柚木茂 (試料・情報の提供元の管理責任者)
試料・情報の提供を行う研究機関の研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 小児科 (職名) 医長 (氏名) 八木悠一郎
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2036 年 3 月 31 日
対象となる方	研究機関の長の許可日から 2036 年 3 月 31 日に当院を受診された方のうち食物蛋白誘発胃腸炎（FPIES）と診断された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、生年月、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、食物経口負荷試験データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	新生児・乳児期に発症する食物蛋白誘発胃腸炎（FPIES）の臨床像、原因食品、重症度、耐性獲得年齢、予後因子などを明らかにし、将来的な診療の質向上につなげることを目的としています。
個人情報の保護について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究とし

	て倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	松山市民病院小児科 八木悠一郎 790-0067 愛媛県松山市大手町 2 丁目 6-5 Tel: 089-943-1151

【共同研究について】

この研究は、以下に記載の他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんの試料・情報等は、氏名や住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を除いた上で、記録媒体を主管機関である愛媛大学医学部附属病院に提供します。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【研究組織】

研究代表者	愛媛大学医学部附属病院・小児科 助教 西村幸士
共同研究代表機関	高知大学医学部附属病院・小児科 学内講師 大石拓 徳島大学医学部附属病院・小児科 講師 苛原誠 香川大学医学部附属病院・小児科 助教 荻田博也
既存試料・情報の提供のみを行う機関	なし

※研究代表者：多機関共同研究を実施する場合に複数の研究機関の研究責任者を代表する者

※研究責任者：個々の臨床研究機関において臨床研究を実施するとともに業務を統括する者